

75歳以上の窓口2割負担、介護サービス利用料引き上げなど 医療・介護の負担増の中止を求める請願署名

請願の趣旨

消費税率の10%への引き上げと景気の悪化、国保と介護の保険料の上昇などが、いま家計を強く圧迫しています。年金の受取額の抑制で、高齢者を中心に、将来の生活への不安が広がっています。こうした中、政府は全世代型社会保障などと称して、あらゆる世代でさらなる医療や介護の負担増と給付抑制を検討しています。

医療費の窓口負担や介護利用料の引き上げ、保険の効く範囲を狭めることは、医療、介護を受けられない人を増やし、国民の健康を脅かします。

医療や介護の財源について言うならば、患者・利用者の負担を増やすのではなく、大企業や富裕層に応分の負担をしてもらうことで確保すべきです。

すべての人が安心して医療と介護が受けられるよう、私たちは、患者、利用者の負担軽減とともに、以下の事項を求めます。

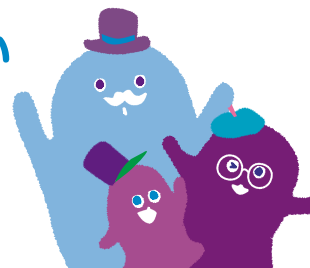
請願事項

一、医療の患者負担を増やさないでください

- 75歳以上の窓口負担の原則1割から2割への引き上げはしないこと
- 花粉症治療薬、痛み止め、漢方薬など、市販品のある薬の保険外しをしないこと
- 受診するたびに定額(100円または500円)を窓口負担に上乗せしないこと

一、介護の利用者負担を増やさないでください

- 介護サービスの利用料負担の引き上げをしないこと
- ケアプラン作成の有料化をしないこと
- 要介護1、2に対するホームヘルパーによる生活援助サービスを介護保険給付から外さないこと



お名前	ご住所

※この署名は、憲法16条で保障された請願権にもとづいて行うもので、国会請願以外の目的に使用しません。

(取扱い医療機関、団体)